

**令和6年度 大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業
審査結果表**

大 学 名	金沢大学	タイプ	I：地域等連携型
プログラム名	多層型多文化共修プログラムによる価値創造人材の育成とそれを育む Global Innovation Campus の実現		
連携大学等	—		

〔評価コメント〕

本プログラム計画は、SGU 事業の実績や、これまで採択されてきた様々な事業の成果を踏まえて、現状分析を十分に行っており、大学が抱えている課題や方針を整理した上で、国際化を進めようとする意欲的な取組である。具体的には、入学前から卒業・修了までの一貫通貫した教育改革のため、大学院までの多層的な多文化共修を展開するべく、高大接続や入試制度改革、学部・大学院課程のカリキュラムの再構築等が検討されており、周到な準備に基づく緻密な計画が立案されていると高く評価できる。

多文化共修科目においては、カリキュラム体系が明確であるため、全学的（学生・教職員）な理解や協力が得られやすく、実現可能性が高いものと思われる。また、多層的な多文化共修科目を活用して、日本人学生の留学モチベーションを向上させるよう、学生の意欲と習熟度に対応するなどの工夫を組み込み、課題解決を図ろうとするものは評価に値する。合わせて、日本人学生の海外留学促進のため、留年せずに留学できるよう、学年進行の制度設計を見直すなどの抜本的な改革を実施していることについても注目したい。

その他、地域との連携や世界各地とのネットワーク強化の計画も優れており、着実な成果が見込まれる。前者では金沢という地域特性を生かした教育連携構想が、多層型多文化共修科目の設置にも功を奏し、出口戦略に効果を上げる計画になっている。後者においても、海外拠点に現地の事情に詳しい研究者を Collaborative Researcher として登用し、そこを拠点に世界各地とのネットワークを強化していくという計画は大変堅実である。

一方で、多文化共修科目におけるカリキュラム体系が明確ではあるものの、多層型多文化共修プログラムの最上位に位置する専門科目レベルにおける授業設計については準備がまだ十分ではないように見受けられるため、学修効果を確実に保証する科目設計を期待したい。

また、外国人学生の出身国・地域の偏りを避けるために、様々な国・地域への働きかけを積極的に行おうとしているが、入学者の質保証においても十分な配慮がなされることが望まれる。

最後に、今回選定された貴学においては、世界や地域の課題解決に資する人材を育成するため、多文化共生社会の実現を牽引し、さらに多文化共修による教育研究活動を、国内外の課題解決策の提案や社会実装の先にある「ソーシャルインパクト」の創出につなげていくことを強く要請する。